



## 投資環境レポート 2018年11月号

### 1. 先月の回顧と今後の見通し・今月の予想レンジ（要旨）

#### <先月の回顧>

- ①株式市場・・・日経平均株価は、10月2日に年初来高値更新（24,448円）。その後、米長期金利の上昇や米中貿易摩擦が企業業績の見通しに影響を及ぼし始めたこと、米ハイテク株の企業業績への過度な期待の剥落により米国株式が軟調に推移したことから、日経平均株価は月初の24,245円から月末21,920円へと▲9.12%下落。
- ②債券市場・・・日本の10年国債利回りは、米長期金利上昇により9日には一時0.16%台まで上昇したが、世界的な株安により月末は前月比ほぼ横ばいの0.13%に低下。
- ③為替市場・・・円相場は、米中貿易摩擦の悪化懸念や米中間選挙に対する警戒感、イタリア財政問題、英国のEU離脱を巡る交渉の難航等からリスク回避姿勢が強まり、主要通貨に対して円高で推移。トルコリラは米国人牧師開放による対米関係改善期待による買い戻し、ブラジルレアルは大統領選でボルソナロ氏勝利が濃厚となったことで堅調に推移。

#### <今後の見通し>

- ①日米の株価は、10月の大幅下落を買い戻す動きを予想。11月6日の米中間選挙にて上院・下院の多数派が異なる「ねじれ議会」となったが、ほぼ予想通りの結果で不透明感が払拭され、好調な企業業績等から割安感が台頭し大幅な買い戻しを予想。
- ②円相場は、米国経済の堅調継続による日米実質金利差の拡大傾向から、米ドル高・円安基調は維持されると予想。ただし、日米貿易交渉（TAG）には注意が必要。

#### <今月の予想レンジ>

・日経平均株価 21,000～24,500円 ・NYダウ 24,500～27,000ドル  
 ・為替相場(ドル円) 111.50～115.00円 ・日本10年国債利回り 0.10～0.20% ・米国10年国債利回り 3.00～3.40%

### 2. 主要投信の運用状況（2018年10月末）

銘柄名	基準価額 (円)	累積リターン (%)					
		1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年
ブラックロック・ベストバランス戦略ファンド(年1回決算型)	9,268	-3.65	-4.16	-4.08	—	—	—
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	11,299	-0.93	-1.07	-1.23	0.66	5.15	16.43
アムンディ・ダブルウォッチ	10,018	-2.18	-2.43	-2.43	-4.04	—	—
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドAコース	10,387	-0.46	-0.99	-1.38	-3.14	—	—
高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	4,985	-1.59	-0.61	-0.19	-3.70	-7.61	6.77
新成長株ファンド	31,307	-13.21	-8.80	-6.20	5.18	88.09	208.30
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース	23,723	-8.73	-2.32	5.54	9.41	31.60	114.04
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	7,949	-7.57	-8.66	-4.25	-11.29	5.84	8.08
グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	13,353	-12.30	-8.12	-7.98	-9.31	29.30	—
グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(1年決算型)	8,476	-13.98	-10.28	-5.67	—	—	—
グローバルAIファンド	14,025	-13.08	-10.18	-3.56	-2.96	—	—
次世代通信関連 世界株式戦略ファンド「THE 5G」	9,334	-10.03	-6.82	-4.95	—	—	—
ニッセイJリートオープン(毎月分配型)	10,815	-1.46	-0.41	3.16	11.01	8.63	34.40
ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2,295	-1.98	-0.80	7.91	-0.18	-2.44	35.16

(出所) QUICKのデータを基に静銀ティールーム証券が作成

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティールーム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティールーム証券商品部の見解です。また、静銀ティールーム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### ● 投資信託にかかるご注意

- ◆ お客様にご負担いただく費用  
 直接ご負担いただく費用 ・申込手数料 上限 3.78% (税込) ・信託財産留保額 上限 0.5%  
 間接的にご負担いただく費用 ・信託報酬 上限 2.376% (税込) ・その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等  
 ※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。  
 また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。  
 ※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。  
 ※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。
- ◆ 投資信託のリスクについて  
 投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。  
 詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

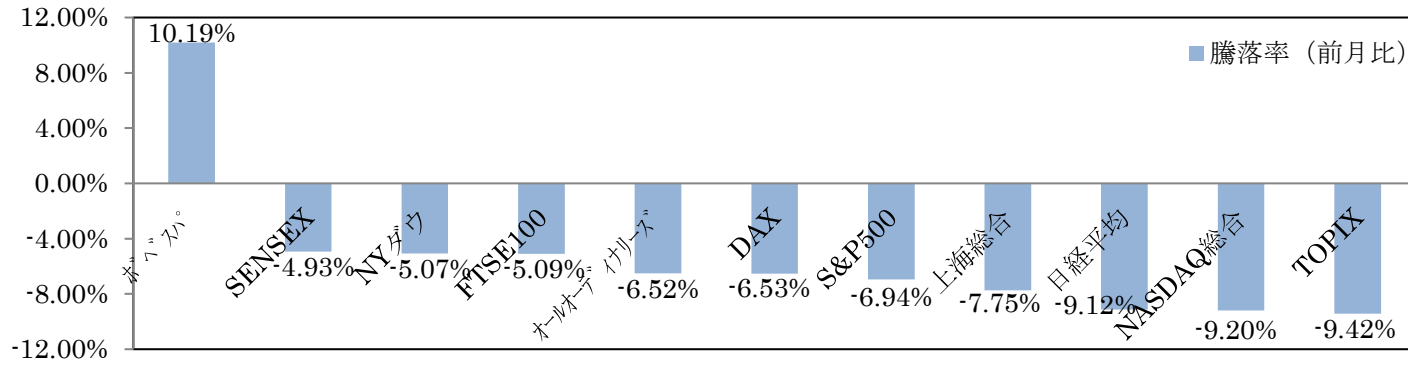
### ● 上場有価証券等にかかるご注意

- ◆ お客様にご負担いただく費用  
 上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。  
 ・日本株式 約定代金に対して税込み最大1.188%（最低料金1,620円）  
 ・新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大1.188%（最低料金2,700円）  
 ・外国株式 約定代金に対して税込み最大1.080%
- ◆ 上場有価証券等のリスクについて  
 株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。  
 上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

### ● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

- ◆ お客様にご負担いただく費用  
 債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。  
 外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。
- ◆ 債券のリスクについて  
 債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。  
 外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。  
 上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

### 3. 株式＜主要株式指標 騰落率(前月比)＞



### ＜主要株式指標 月末終値＞

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	日経225	上海総合	日経平均	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストラリア	中国	ブラジル	インド
21,920.46	1,646.12	25,115.76	2,711.74	7,305.90	11,447.51	7,128.10	5,913.30	2,602.78	87,423.55	34,442.05

(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

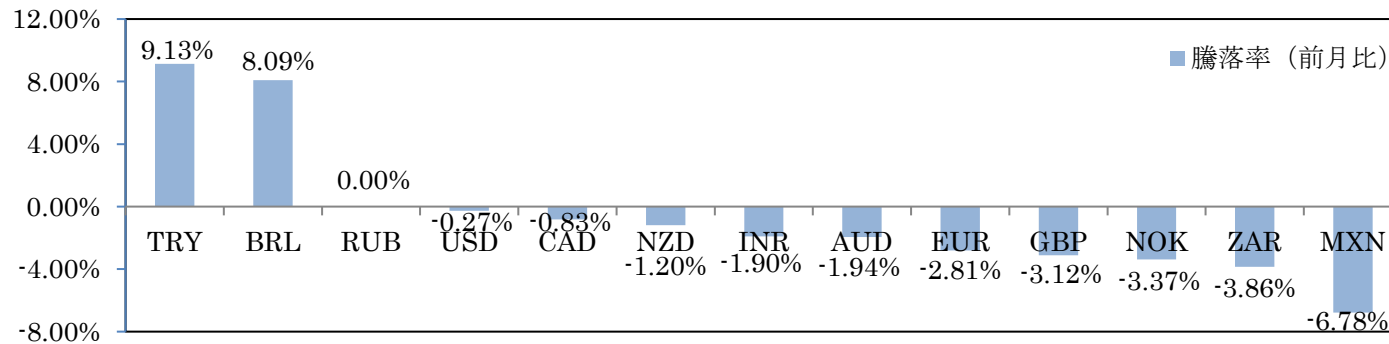
### ＜先月の回顧＞

- ①日経平均株価は、10月2日に24,448円と年初来高値を更新。その後、日本株は米長期金利上昇や米中貿易摩擦等による米国株下落を契機に、投資ファンドや海外投資家の株式売却で下げ幅を拡大。日経平均株価は21,920円で引け▲9.12%下落。
- ②米国株は米長期金利上昇や米中貿易摩擦が企業業績の見通しに影響を及ぼし始めたこと、米ハイテク株の企業業績への過度な期待の剥落等により、年初より買われてきたハイテク銘柄を中心に下落(NASDAQ総合▲9.20%)。

＜今後の見通し＞ 日米の株価は、10月の大幅下落を買い戻す動きを予想。11月6日の米国中間選挙にて上院・下院の多数派が異なる「ねじれ議会」となったが、予想通りの結果で不透明感払拭から割安感が台頭し、大幅な買い戻しを予想。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 21,000~24,500円 NYダウ 24,500~27,000ドル

### 4. 外国為替＜主要通貨対円 騰落率(前月比)＞



### ＜主要通貨対円 月末気配レート＞

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
アメリカ	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
113.26	128.43	143.9	80.24	86.43	74.2	13.46	30.58	1.55	5.64	1.73	7.73	20.68

(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

### ＜先月の回顧＞

- ①円相場は、米中貿易摩擦の悪化懸念や米中間選挙に対する警戒感、イタリア財政問題、英国のEU離脱を巡る交渉の難航等からリスク回避姿勢が強まり、主要通貨に対して円高で推移。
- ②トルコリラは米国人牧師開放による対米関係改善期待による買い戻し、ブラジルレアルは大統領選でボルソナロ氏勝利が濃厚となったことで堅調に推移。

＜今後の見通し＞ 円相場は、米国経済の堅調継続による日米実質金利差の拡大傾向から、米ドル高・円安基調は維持されると予想。ただし、日米貿易交渉(TAG)には注意が必要。

(今月の予想レンジ) 米ドル円 111.50~115.00円

### 5. 債券、リート、商品＜月末気配値 または 終値＞

10年国債	利回り	騰落幅 (前月比)	リート (配当込)	指数	騰落率 (前月比)
日本	0.130	0.005	東証リート指数	3,459.73	-1.53
米国	3.141	0.08	S&P米国リート指数	1,235.85	-2.50
ドイツ	0.385	-0.083	S&P豪州リート指数	736.35	-2.48
インド	7.8505	-0.18	商品 (米ドル)	指数	騰落率 (前月比)
ブラジル	10.229	-1.309	原油 WTI先物	65.31	-10.84
メキシコ	8.833	0.912	金 COMEX先物	1,215.0	1.57

(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

### ＜先月の回顧＞

- ①日本の10年国債利回りは米長期金利上昇により、9日には0.16%台まで上昇したが、世界的な株安から月末には前月比ほぼ横ばいの0.13%まで低下。
- ②米国10年国債利回りは、年初来最高値となる3.25%超えの後、株安の進行に伴い、質への回避から米国債が買われ3.1%台へ低下。
- ③WTI(原油先物)は米原油在庫が増加したこと、および対イラン制裁の影響が当初想定よりも限定的であるとの見方から月初73.25ドルから月末65.31ドルと▲10.84%の大幅下落。

＜今後の見通し＞ 日本の長期金利は、超低金利の長期化により金融機関の収益悪化懸念が高まりつつため、日銀は若干の金利上昇を容認するものと予想。米国の長期金利は、経済の拡大傾向継続および貴金上昇から、穏やかな金利上昇を想定。

(今月の予想レンジ) 日本10年国債利回り 0.10~0.20% 米国10年国債利回り 3.00~3.40%

### 6. 今月のスケジュール

日本		米国		欧州		その他	
14日	7-9月期GDP	2日	10月雇用統計	1日	BOE金融政策委員会	6日	豪州金融政策決定会合
22日	10月全国CPI	6日	中間選挙	30日	ユーロ圏11月CPI	11日	独身の日(中国)
		7-8日	FOMC			15日	メキシコ金融政策決定会合
		29日	PCEコアデフレーター			22日	南アフリカ金融政策決定会合
		30-1日	G20首脳会議				

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ティーエム証券が作成

### セミナーのご案内＜参加ご希望のお客さまは主催各店もしくは本社サポートセンター(TEL054-254-1010)へお申し込み下さい＞

開催日	開始時間	終了時間	部支店名	内容	会場
2018/11/8	13:30	15:00	熱海支店	1. 米国株式市場の投資環境見通し 2. 7ライアンス・バースタイン米国成長株投資の運用状況について	静岡銀行 伊東支店
2018/11/19	10:00	11:30	清水支店	米国株式市場の投資環境見通し	清水テルサ
	14:00	15:30			静岡銀行 清水中央支店
2018/11/20	10:00	11:30	富士支店	中間選挙後のアメリカ経済と貿易戦争の行方	ふじさんめっせ
	14:00	15:30			富士宮市民文化会館
2018/11/21	10:00	11:30	本店営業部	これからの日本経済を担う新成長株の魅力	静銀ティーエム証券 5階 大会議室
	13:30	15:00			
2018/11/22	10:00	11:30	掛川支店	中間選挙後のアメリカ経済と貿易戦争の行方	生涯学習センター
2018/11/27	10:00	11:30	浜松北支店	1. 米国株式市場の投資環境見通し 2. 7ライアンス・バースタイン米国成長株投資の運用状況について	あいホール
	13:00	14:30			
2018/11/28	10:00	11:30	磐田支店	米国株式市場の投資環境見通し	静岡銀行 磐田支店
	14:00	15:30			

【作成】静銀ティーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (日本証券アナリスト協会検定会員・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)

長堀 新司 (日本証券アナリスト協会検定会員)